

# 二輪事故死 全国で最悪

## 11年 県警、指導へ

2011年1年間における、県内のバイク乗車中の交通死亡事故者は16人で、

全死者に占める構成率が35・6%と全国で最も高かったことが県警交通企画課の

まとめで分かった。死傷者数における構成率も全国で2番目に高い状況となっており、バイク事故が多発する夏場を迎え、県警は7月からの1カ月間、指導や取り締まり、啓発活動を強化して交通事故抑止を図っている。

同課によると、県内のバイク乗車中の死者が全死者(45人)に占める構成率は、08～09年が連続で全国1位、10年は3位で、再び1位となった11年は全国平均18・3%の2倍近い構成率だった。死傷者数における構成比も、08年が1位、09～10年が連続2位と上位

が続く。

11年のバイク乗車中の死傷者に占める死者数(致死率は0・83%で自動車(0・34%)の2・5倍に当たり、歩行者(1・18%)に次いで高いことから、同課は「事故に遭うと被害が大きくなる確率が高い」と分析する。

バイク乗車中の死者を事故と行動の類型別で見ると、11年は「車両相互」の場合、右折時が5件、追突時とその他がそれぞれ2件。「車両単独」の場合は工作物への衝突が5件、路外逸脱・転落、駐車車両への衝突がそれぞれ1件だった。

(2012年7月17日 28面)

☆ 沖縄での11年のバイク死者数は、自動車と比べて何倍でしょうか？

☆ バイク事故を減らすためには、どのような対策が必要か話し合ってみよう。

年 組 名前